

2025.11.29 (土) 10:15 ~

町田市民ホール1階 第3会議室

日本子どもの本研究会会長

代田知子 講演会

絵本『あんぱるぬゆんた
—沖縄・八重山古謡—』と
作者 代田昇の沖縄への思い



代田昇/文 宮良貴子/絵 丸山亜季/曲
我がーやいまの自然環境を守る会

沖縄からもらった命は、

「子どもの幸せ」と「平和」と「沖縄」のために

—「沖縄県子どもの本研究会」と、絵本『あんぱるぬゆんた』の誕生—

参加費
無料

※当日、会場では組曲「あんぱるぬゆんた」(丸山亜季作曲)のピアノ演奏
及び、絵本の原画パネル展示、絵本販売も行います。

「あんぱるぬゆんた」作者代田昇氏の長女である代田知子氏による講演会です。

講演 絵本「あんぱるぬゆんた—沖縄・八重山古謡—と

作者 代田昇の沖縄への思い

日時 2025年11月29日(土) 10:15 ~

会場 町田市民ホール1階 第3会議室

申込 無料・事前申し込み 下記QRコードから

定員 30名

10:00 受付開始

10:15 代田知子 講演

11:30 ピアノ演奏(坂本美香子)

質疑応答など

主催 NPO 法人アートネットまちだ

協力 長谷川一宏 一般社団法人コニエレニ

お申し込みは
こちら!

町田市民ホール

東京都町田市森野2-2-36

TEL042-728-4300

小田急線町田駅(西口)から徒歩約7分



本講演会は第19回町田市市民協働フェスティバルのイベントとして開催されます。

まちかフェ!



お申込み・お問合せ先 NPO 法人アートネットまちだ

電話 042-736-6728 e-mail: artnetmachida@gmail.com

〒195-0063 東京都町田市野津田町2-4-2-6



絵本『あんばんるぬゆんたー沖縄・八重山古謡ー』について

代田昇/文 宮良貴子/絵 丸山亜季/曲

初版：1967年 銀河社

復刻版：2022年・復刻新版：2025年我がーやいまの自然環境を考える会

沖縄県石垣島の「あんばんる」は、島一番の風光明媚な入り江です。

そこに棲むさまざまなカニたちを歌う古謡「網張ね目高蟹ゆんた」から

絵本『あんばんるぬゆんた』が生まれました。

初版 1976 年から読み継がれたロングセラー。

2025 年の復刻新版には八重山古謡と子どもたちが歌う

「あんばんるぬゆんた」の組曲のQRコード、

組曲の全楽譜が付いています。



絵本購入はこちら



作者/代田昇
(しろたのぼる)



長野県伊那谷で幼少期を過ごし、太平洋戦争中、沖縄で住民に命を救われる。のちにこの体験と反戦の想いを込めた絵本『四人の兵士のものがたり』（潮平正道絵 あすなろ書房／のちに、宮良貴子絵 理論社）を書く。

戦後、旧制愛知大学卒業後、東京都公立高校・中学校教員となる。その後、都立教育研究所三鷹分室（有三青少年文庫）で、子どもの本と読書の実践研究に携わる。1967年に退職。仲間と「日本子どもの本研究会」を創設し、事務局長に就任。1988年同研究会 会長となる。別府大学短期大学教授も務める。

主な著書は、絵本『てんりゅう』（きたじましんぺい絵 岩崎書店）ほか多数。沖縄の心・文化・自然を伝える作品としては、本書のほかに慶良間列島・阿嘉島を舞台とする絵本『黄金りゅうと天女』（赤羽末吉絵 銀河社／のちにBL出版）もある。読書教育の著書は『親子読書会のすすめ』（岩崎書店）、『子どもの文化と読書活動』ほか多数あり。

沖縄戦で船舶特攻兵だった代田昇（出生地：長野県）は、住民に命を救われた。戦後、代田は、石垣島で八重山古謡「網張る目高蟹ゆんた（あんばんるめだがーま ゆんた）」に出会い、心の底から感動する。農民労働歌であるこの古謡からは、「重税や辛いことはあるけれど、力を合わせ、唄い、踊り、明るく生きていくぞ」という、沖縄人の心がにじみ出る。ぜひ、絵本にしたい！日本中の人に『美しい沖縄の心』と『美しい沖縄の自然』を知ってほしい。代田はそう願い、潮平正道 氏らの力を借りながら、古謡を子どもに伝えることばでつづる物語に仕立てた。絵本の物語は、めだかガニの「生年祝い」（まれどしいわい／数えで13歳の誕生祝い）に、島中のカニたちが手伝いやお祝いに集まってくるという内容だ。絵は、石垣生まれでフランス留学帰りの若き画家、宮良貴子に託した。個性あふれる15種のカニたちが浜に集まり、「ゆいさ！」「はーはいへー また はーはいへー」と唄い、踊り、てきぱきと働くそのようすが、ひょうきんに、力強く、しかも精密なカニの姿で描かれている。絵本は、初版の1976年から16刷りとなるベストセラーだったが、版元の都合により絶版となった。しかし2022年、古謡と丸山亜季作曲音楽のCDをつけた「復刻版」という形でよみがえった。復刻を後押ししたのは、この絵本を子どもたちと楽しんできた、音楽家、丸山亜季と幼児教育者たち。そして、石垣の自然を愛しリゾート開発に反対する人びとの声だ。本書は、第42回（2020年）沖縄タイムス出版文化賞児童部門賞を受賞した。（文責／代田知子）